

会 議 録

会議の名称	令和元年度第2回 病院運営審議会		
開催日時	令和2年(2020年) 1月20日(月) 13時30分 ~ 14時30分		
開催場所	市立豊中病院 講堂 (管理棟5階)	公開の可否	可・不可・一部不可
事務局	市立豊中病院 総務企画課	傍聴者数	1人
公開しなかった理由			
出席者	委員	上西 晟子、上山 真紀、高鳥毛 敏雄、多田 耕三 深谷 和代、松本 孝治、真鍋 哲也、渡邊 太郎	
	事務局	病院事業管理者 本荘 泰司、総長 吉川 秀樹、病院長 堂野 恵三、 副院長 稲田 正己、副院長兼看護部長 藤田 幸恵、 医務局長 中川 理、中央診療局長 岩橋 博見、薬剤部長 村田 充弘、 看護部次長 木本 正美、医療安全管理室長 中上 紀子 事務局次長兼総務企画課長 加嶋 隆、栄養管理部長 中井 智明、 放射線部長 砂場 均、臨床検査部長 山内 一浩、 リハビリテーション部長 大川 知之、地域医療室長 甲斐 智典、 がん相談支援センター長 鍋島 智、医事課長 中村 卓、 施設用度課長 津川 昌夫、医療情報室主幹 櫻田 靖之、 総務企画課主幹 城戸 篤、総務企画課主幹 坂口 真由美	
	その他		
議題	(1) 令和元年度病院業務状況の報告について (2) 病院機能評価の受審報告について (3) その他		
審議等の概要 (主な発言要旨)	別紙のとおり		

病院運営審議会（審議等の概要）

●委員の出席状況と審議会成立の報告

全委員11人中8人出席、本審議会成立を報告

●傍聴希望申込みの許可

傍聴希望者1名の傍聴を許可

●案件

- 1) 令和元年度病院業務状況の報告について
- 2) 病院機能評価の受審報告について
- 3) その他

●審議内容

1. 令和元年度病院業務状況の報告について、事務局から資料に基づき報告

《意見等》

1. 前年度に比べ外科の延入院患者数、病床利用率が減少している要因はなにか。

腹腔鏡や胸腔鏡などによる低侵襲手術の実施数が増加し、術後の治療期間も短くなったため平均在院日数が短縮している。新規入院患者数は増加しているが、平均在院日数が短くなったため、病床利用率が低下している。

2. 手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入して数年が経過したが、導入後どのような変化がみられたか。

ダヴィンチ導入後、前立腺がんの患者数は増加している。また、今年度からダヴィンチを用いた直腸がんや胃がんの摘出術を開始し、ダヴィンチの稼働率は上がっている。今後も手術支援ロボットを用いた手術症例が増加することが予想される。

3. 次回の診療報酬改定で、重症度、医療・看護必要度の要件が厳しくなることが予想される。重症度、医療・看護必要度の高い患者さんの確保をどのように進めていくのか。

重症度医療・看護必要度の高い手術の症例を増やしていく必要があるが、現在、手術室は高い稼働率を維持しており、手術室の活用方法等検討していく必要がある。

4. ここ数年、平均在院日数が短くなり病床利用率が低下しているが、病床の活用についてどのような考えでいるのか。

当院では、今年度6月に脳卒中集中治療室を稼働し、急性期病床を高度急性期病床に移行し、病床の有効的な活用を図った。今後の病床の活用については、地域医療構想の議論を踏まえて検討していく。

5. 地域別患者数について、前年度と比べ市外の患者さんが増加しているが、新たな取り組みを行ったのか。

当院への患者紹介や当院に対するご意見など、ヒアリングを兼ねて地域の医療機関への訪問を行っている。訪問する地域は、豊中市に限らず患者さんの交通アクセスの利便性を考慮し、池田市、箕面市、川西市等への訪問を実施しており、その結果、市外からの患者さんが増加したのではないかと考えている。

6. 脳卒中集中治療室稼働後の状況について教えてください。

脳卒中集中治療室がある7階北病棟の稼働状況は、前年度と比較し、新入院患者数は43.1%増加、収益は23.6%増加している。

2. 病院機能評価の受審報告について、事務局から資料に基づき説明

〈意見等〉

7. 評価Bとなったのはどのような項目か。

評価Bとなった項目は、①「患者支援体制を整備し、患者との対話を促進している」、②「臨床における倫理的課題について継続的に取り組んでいる」、③「医療関連感染を制御するための活動を実践している」、④「安全確保のための身体抑制を適切に行っている」、⑤「薬剤管理機能を適切に発揮している」、⑥「医療機器管理機能を適切に発揮している」、⑦「人事・労務管理を適切に行っている」、⑧「職員の安全衛生管理を適切に行っている」の8項目である。

8. サーベイヤーからの助言を受けた「職員教育の継続的なプログラム設定」については、どのような改善を行うのか。また、感染対策室には専従の看護師が配置されているが、なぜ「医療関連感染を制御するための活動を実践している」の項目が評価Bとなったのか。

「職員教育の継続的なプログラム設定」については、教育研修センターにおいて医師に限らず各職種の教育プログラムを一元的に管理することが望ましいと助言をいただいた。助言の内容を踏まえ、よりよい教育環境づくりに向けて検討していく。

また、「医療関連感染を制御するための活動を実践している」については、病棟で尿測に使用している計量カップの運用方法や汚染リネンの管理場所を再検討することとの指摘を受けた。

3. その他

〈意見等〉

9. 1階のコンビニエンスストアの店内が広くなり、買い物がしやすくなった。

コンビニエンスストアについては、事業者より、利用者からの店舗を拡張してほしい、車いすが通りにくいなどの意見を踏まえ、イートインコーナーを見直し、より快適に利用いただけるよう店内のレイアウトを変更する提案を受け、協議を行い昨年9月に実施した。今後も利用者の意見等を踏まえ、より良い環境づくりに努めていく。

10. 1階フロアで実施しているコンサートは、来院者にどのように周知しているのか。

コンサートについては、コンサート当日に院内放送でコンサート実施のアナウンスをしている。また、各病棟の掲示板に案内ポスターを掲示している。

11. 働き方改革に向けて、市立豊中病院ではどのような取組みをしているのか。

今年度、医師の働き方に関するワーキンググループを立ち上げ、タスクシフティングによる医師の業務軽減などについて検討している。

12. 市立豊中病院の運営計画・実施計画に示されている目標設定が曖昧ではないかと思う。病院運営審議会で市立豊中病院の運営の在り方などを検討するうえで、周辺の病院のデータを提供されると、議論が深まるのではないかと思う。

4. 事務連絡

今年度の病院運営審議会は今回が最後となる。また、委員の任期が本年6月までのため、任期中の開催も今回が最後となる。

<以上、終了>